

第1学年 国語科学習指導案

日時 令和2年9月28日(月) 公開授業2
学級 遠野市立遠野中学校 1年1組26名
授業者 黒淵 大介

1 単元名 「君はスズメを減っていると思うか？」
教材名『スズメは本当に減っているか』

2 内容のまとめり 第1学年 「C読むこと」

3 単元の目標

- ・文章と図表との関連をとらえながら、説明の文章を読もうとしている。
〔国語への関心・意欲・態度〕
- ・説明されている事実と図表との関係を整理し、文章の要旨をとらえることができる。〔Cイ〕
- ・文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつことができる。〔Cエ〕
- ・文末表現などに着目して、考えを伝える語句について理解を深めることができる。
〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ウ)〕

4 単元について

(1) 生徒について

説明的文章の学習では、1学期に「オオカミを見る目」で「段落の役割や段落どうしの関係に着目して、文章の構成を捉える学習」を行った。意欲的に文章を読もうとするが、筆者の主張に対して根拠をもとに説明したり、事実として書いてある文章と筆者の意見を捉えたりすることができない。積極的に話し合ったり、意見を述べたりする活動を取り入れたい。学習の取りかかりに差があるが、協力して取り組もうとする雰囲気もあるので、グループの話し合い活動などで協力させ、授業に関わるようにさせたい。与えられた課題をこなす受け身の学習だけではなく、様々な視点から自分の立場を明確にし、考えに対する根拠をしっかりと説明できるような学習が必要だと考えられる。

(2) 教材について

本単元は、第1学年で2回目の説明的文章である。指導事項は、中学校学習指導要領〔C読むこと〕領域のイ「文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること」、エ「文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと」である。本教材は、筆者が4つの表と図に表現された3つのデータをもとに、科学的な視点と姿勢に徹して「スズメは本当に減っているか」の検証を進めている。検証の展開がそのまま文章の展開となっている特徴的な文章で、読み手は、事実と考えを読み分けてその関係を捉えていくことを通して、科学的な思考の一つのモデルにふれることができる。また、図表を手がかりに思考・判断して自分の考えを持つことは、他教科の学習においても必要とされる能力であり、その点からも有意義な学習になる。

(3) 指導について

本単元では、文章と図表を照らし合わせながら事実と考えを区別し、展開を捉えるとともに、図表の特徴や効果も説明できるようにしたい。そのために、言語活動例イの「文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと」を位置づける。本単元は、検証のあり方に対する考察、そこに表れている筆者のものの見方・考え方の把握や吟味など、多様な視点から学びを深めることができる題材である。そこで、本学習では、展開部分を読む前に、図表から読み取れることを考えさせたい。四つの図表から考察されることを、「スズメは本当に減っているといえるのか」という観点で話し合うことで、筆者と同じ思考過程をたどることができると考えられる。そして、本文を読むことで、筆者のものの見方や考え方について、主体的な感想や考えを持つことができる。グループでの話し合い活動や、図表をもとに考えられることの説明を通して、能動的な学習をさせたい。

5 遠野中学校の研究との関わり

【研究主題】「主体的に学ぶ生徒の育成 ～自分の考えをもち、関わり合う授業を通して～」

視点1 「課題意識の持続」…今年度の国語科では、生徒自身が学習内容の見通しを持たせるため、単元ルーブリックを配布している。電子黒板などの情報機器を活用し、生徒が何に取り組むかを明確にしたい。また、ビジュアルツールを活用し、生徒が主体となって教材に関わる活動を図る。

視点2 「達成状況の把握」…生徒の学習成果を把握するため、「K-W-L チャート」を活用した学習シートを用いる。ペア活動やグループ活動の様子から達成状況を確認する。

視点3 「学びを深める場の設定」…自分の考えをまとめる時間を保障する。

6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
① 文章と図表との関連をとらえながら、説明の文章を読もうとしている。【関】	① 説明されている事実と図表との関係を整理し、文章の要旨をとらえている。(イ) ② スズメは本当に減っているかを展開する上で図表が果たしている役割をとらえ、その効果について自分の考えをもっている。(エ) 【読】	① 文末表現などに着目して、考えを伝える語句について理解を深めている。【知】

7 指導と評価の計画（6時間扱い ※本時はその6時間目）

時	ねらい・学習活動	重点「評価規準」	評価方法
1	・スズメについて知っていること、知りたいことをまとめ、共有する。 ・教材を読み、学んだこと、さらに知りたいことをまとめる。 K-W-L チャート	【関】①	行動観察 (発言・反応) ワークシート
2 3	・スズメについて調査する。 ・補助教材を読み、筆者の論証と比較する。	【読】②	行動観察 ワークシート
4 5	・図表のデータをもとに、検証の理由とわかった事実の因果関係をみる。 キャンディチャート	【読】① 【知】①	行動観察 ワークシート
6	・文章の内容や筆者の論証の仕方について、自分の考えをもつ。 バタフライチャート	【関】① 【読】②	行動観察 ワークシート

8 本時の指導

(1) 目標

- ・筆者の論証について、根拠を基に話し合い、考えを広げたり深めたりする。【読むこと】

(2) 展開

段階	学習内容	生徒の活動	・留意点等 ●評価
導入 10分	2分前学習 1 前時の想起 2 学習課題と見通しの把握	1 前時のまとめを発表する。 2 課題を視写し、斉読する。	・ (TV) ・ 3種類のデータを示し、生徒の言葉から課題を設定する 視点1
スズメは本当に減っていると思うか考えよう			
展開 33分	3 学習課題の解決 (1) 互いの学びを共有する。 (2) 筆者の検証についての精査・解釈 (3) 他者との交流とグループでの意見決定 (4) 全体交流と学習のまとめ	3 (1) L欄 (K-W-Lチャート)の記述をもとに学んだことを共有し、論の展開や推測した結果の是非についての討論へと発展させる。 (2) バタフライチャートに自分の立場と根拠を記入することで、筆者の論証に納得するか決定する。 (3) グループの意見を整理し、自分たちの立場を決める。 (4) グループの意見をホワイトボードに記入し、話し合った内容を交流する。	・ ワークシートをもとに、自分の観点を明確にさせ、話し合いに参加できるようにする。 視点3 ●グループでの話し合い活動に積極的に参加している。 ・ 様子を見て歩き、必要に応じて声をかけたり、支援したりする。
終末 7分	4 本時の振り返り	4 ・最終の自分の立場とその根拠、理由を記入させる。自分の考えの変容、広がりや深まりについても記述する。	視点2 達成状況の把握

(3) 板書計画

